

カナダにおける図書館アドボカシー
 配布資料

1 序論

2 図書館書籍郵便料金制度

定義：図書館利用者や他の図書館に書籍を送るための（図書館限定の）郵便料金割引制度

	日本	カナダ
	冊子小包郵便物 Booklet Parcel Post	図書館書籍郵便料金 Library Book Rate
対象	書籍・雑誌、商品カタログ、 会報、各種マニュアル類、 カレンダー等、CD や DVD 等	書籍
対象外	「手書きのもの等印刷されていないもの」	報告、コピー、テープ、CD、 ビデオ、マイクロフィルム等
利用者	誰でも使える	非営利的図書館
事前手続	不要	必要
大きさの制限	330×250×35(mm) 長さ + 幅 + 高さ < 1.7m	長さ・幅・高さ < 1m 長さ + 胴まわり < 2m
重さの制限	~3kg	~3kg (かがりなし製本) ~5kg (製本簿)
500g の本なら	290 円	CN\$0.77 ~ \$2.32 (約 65 円 ~ 195 円 '04//03 現在)
普通小包なら	510 円 ~ 1020 円	CN\$5.53 ~ \$9.31 (約 465 円 ~ 782 円 '04/03 現在)
割引率	43% ~ 72%	75% ~ 86%

3 図書館アドボカシー

定義：図書館に影響を与え得るような政治的決断を下す人たちに、図書館および図書館界の活動を考慮に入れさせるため、図書館員及び図書館協会の職員をはじめとする図書館界が行う継続的な取り組み

4 分析・議論

カナダにおける図書館アドボカシーの特徴

- ・ 無党派
- ・ 政治家よりも官僚
- ・ 活動の波
- ・ 言葉遣い
- ・ 先導者
- ・ 先導者の個性的で創造的な挑戦
- ・ 研究としてのアドボカシー
- ・ 協力・連携
- ・ プロのロビイストの使用
- ・ 先を見越すというよりむしろ、物事が起こってから反応
- ・ 教育と実地研修 (OJT)

カナダにおける図書館アドボカシーへの挑戦

- ・ タイミング
- ・ 図書館界内の反対意見
- ・ コミュニケーション不足
- ・ 参加への許可、情報
- ・ カナダ：ひとつの国なのか？
- ・ 疲労
- ・ コスト高に対する恐れ
- ・ 時間がたつにつれて変化するポジション
- ・ 政界で働く難しさ
- ・ 移動標的としての政府
- ・ だれが何をするのか？
- ・ 成功の定義革新の必要性
- ・ 政治ざらいな図書館界の性質

5 結び